

安全・安心な福島牛を生産
するために

JAグループ福島肉牛振興協議会
会長 湯浅 治

2014.08.19 15:42

「福島牛」とは・・・

最長飼養地が福島県である黒毛和牛の総称

～福島豊かな自然と生産農家の愛情が
福島牛を育てています～

2014.08.19 15:35

福島牛の主な共励会（品評会） 受賞実績

平成10年度全国肉用牛枝肉共励会	名誉賞
平成13年度全国肉用牛枝肉共励会	最優秀賞
平成15年度全国肉用牛枝肉共励会	最優秀賞
第8回全農肉牛枝肉共励会（平成18年）	名誉賞
第9回全農肉牛枝肉共励会（平成19年）	名誉賞・最優秀賞
第11回全農肉牛枝肉共励会（平成21年）	最優秀賞
第15回全農肉牛枝肉共励会（平成25年）	最優秀賞
第17回全農肉牛枝肉共励会（平成27年）	名誉賞
平成18年度横浜食肉市場ミートフェア （9連覇を含み13回受賞）	名誉賞

など

『銘柄 福島牛』をさらなる高みへ



平成27年度 全農枝肉共励会にて
最高賞の名誉賞を受賞



『福島牛の育て方へのこだわり』



福島牛の安全性を担保する飼養管理について



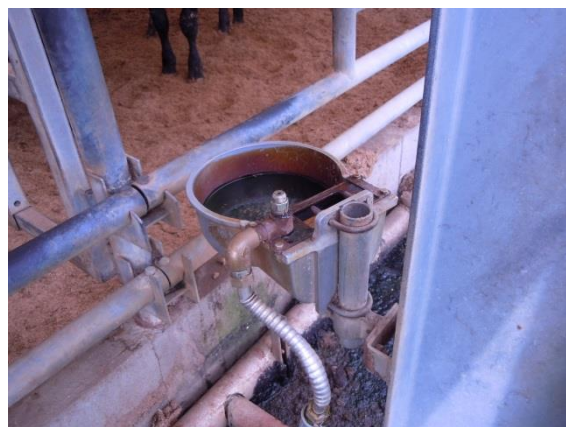
牛舎外部



牛舎内部



自家産稲わら



給水器



飼料タンク・給餌ライン



稲わら保管庫

福島県では、県産食品の安全性を確保するために、生産、流通、消費の各段階において複数回に渡る検査を行なっています。行政はもとより、産地、生産者、流通業者との連携で、各段階による検査を多数実施することにより、安全が確保された農林水産物のみを出荷しています。



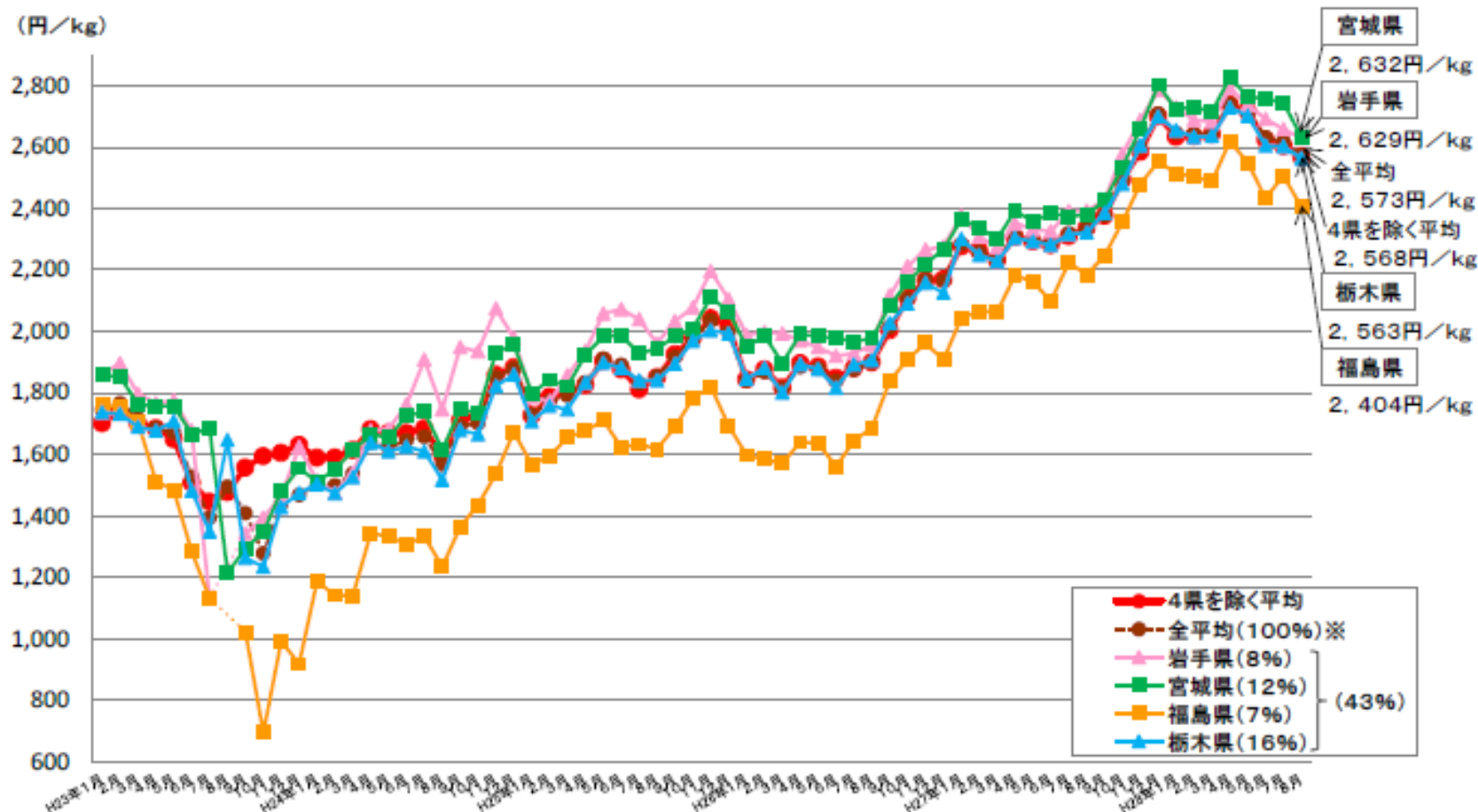
資料：福島県 農林水産部 農産物流通課 参照

『福島牛復興のために』



最近の東京市場における牛枝肉卸売価格(和牛去勢全規格平均)の推移

- 23年度の牛枝肉卸売価格は、東日本大震災による消費の減退や暫定規制値を超える放射性物質検出の影響から、出荷制限4県を中心に価格が低下したが、23年度後半からは回復傾向で推移し、25年度以降は震災以前の価格を上回って推移。
- ただし、福島県産については、なお全国平均よりも低い水準。



資料:農林水産省調べ

価格は生体及び搬入(頭数除く)。

※ ()内は東京市場全体の和牛去勢全規格の取引頭数に占める各県産の頭数割合(H27年)

『福島牛を食べる』





これからもみなさまの『おいしい笑顔』を作るために生産者一同、努力してまいります。

『福島牛』の応援よろしくお願いたします。